

Europe Indicators

発表日: 2022年8月23日(火)

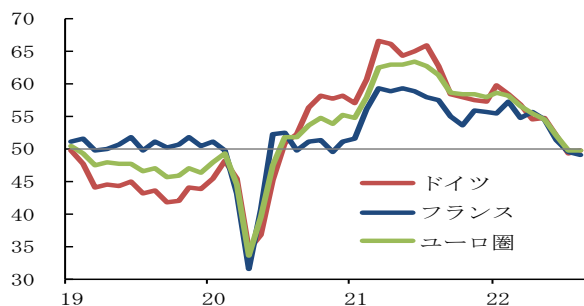
欧州経済指標コメント: 8月ユーロ圏PMI速報

～景気後退にまた一歩近づく～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

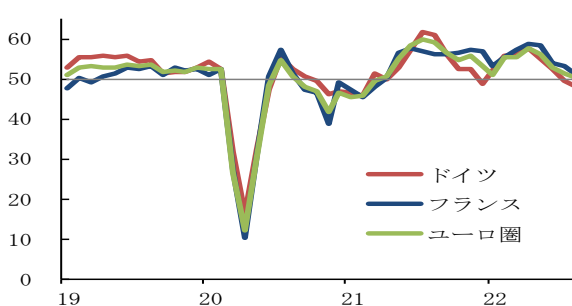
- 前月に好不況の分岐点である50割れに転落したユーロ圏の総合PMIは、7月確報値: 49.9→8月の速報値: 49.2と悪化モメンタムが一段と加速した。総合PMIを構成する2項目の内訳は、製造業の産出指数(製造業PMIの構成項目の1つ)が46.3→46.5と前月並みに悪化した一方、経済活動正常化で改善基調を維持してきたサービス業活動指数が51.2→50.2と息切れ間近。
- ユーロ圏の製造業PMIは49.8→49.7とほぼ前月並み。指数を構成する5項目の内訳は、既述の産出(46.3→46.5)と新規受注(42.6→43.7)の悪化モメンタムが僅かに緩和した一方、雇用(53.3→52.4)の改善モメンタムが一段と鈍化。入荷遅延(37.9→39.7)が上昇し、供給制約の緩和もヘッドライン計数を押し下げた。
- 国別・業種別には、ドイツで製造業(49.3→49.8)の悪化モメンタムが一服した一方、サービス業(49.7→48.2)の悪化モメンタムが加速。フランスは製造業(49.5→49.0)の悪化モメンタム加速、サービス業(53.2→51.0)の改善モメンタム鈍化から、全体でも2021年2月以来の50割れ。
- 供給制約の緩和などが製造業の一段の業況悪化を食い止めた一方、経済活動再開後で初のバカンスシーズン到来も、物価高騰による家計心理の急速な冷え込みがサービス業の業況悪化につながった模様。足元で不安が広がっている冬場のガス不足やライン川の水位低下の影響が現実のものとなれば、景気に一段のブレーキが掛かることは避けられない。

■ユーロ圏: 製造業PMI



出所: S&P Global

■ユーロ圏: サービス業PMI



出所: S&P Global

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

	2021				2022											
	3Q	4Q	1Q	2Q	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
ユーロ圏 総合産出指数	58.4	54.3	54.2	54.2	55.4	53.3	52.3	55.5	54.9	55.8	54.8	52.0	49.9	49.2		
製造業購買担当者指数	60.9	58.2	57.8	54.1	58.4	58.0	58.7	58.2	56.5	55.5	54.6	52.1	49.8	49.7		
サービス業業況指数	58.4	54.5	54.1	55.6	55.9	53.1	51.1	55.5	55.6	57.7	56.1	53.0	51.2	50.2		
ドイツ 総合産出指数	59.3	51.4	54.8	53.1	52.2	49.9	53.8	55.6	55.1	54.3	53.7	51.3	48.1	47.6		
製造業購買担当者指数	62.3	57.5	58.4	53.8	57.4	57.4	59.8	58.4	56.9	54.6	54.8	52.0	49.3	49.8		
サービス業業況指数	59.6	51.2	54.7	55.0	52.7	48.7	52.2	55.8	56.1	57.6	55.0	52.4	49.7	48.2		
フランス 総合産出指数	55.9	55.5	54.8	55.7	56.1	55.8	52.7	55.5	56.3	57.6	57.0	52.5	51.7	49.8		
製造業購買担当者指数	56.9	55.0	55.8	53.9	55.9	55.6	55.5	57.2	54.7	55.7	54.6	51.4	49.5	49.0		
サービス業業況指数	56.4	57.0	55.3	57.0	57.4	57.0	53.1	55.5	57.4	58.9	58.3	53.9	53.2	51.0		

出所: S&P Global

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

